朝日町センターだより　　平成29年6月発行

Plan Do See

「家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」朝日町

さみさと小学校　校長　松原　隆志

朝日町には、歴史と伝統のある数多くの文化が継承されています。その中には各地区に伝承されるお祭りがあります。祭囃子、獅子舞、天狗舞、米吊り等々。宮崎稚児舞もその一つです。宮崎の鹿嶋神社の春祭りに合わせ、豊漁・豊作と家内安全を祈って地区の家々を回る舞で、七、八百年前に始まり朝日町の無形民俗文化財に指定され、宮崎稚児舞保存会によって受け継がれている歴史と伝統のある行事です。

稚児舞の練習風景

先般、本校の子供たちが練習に励んでいると聞き、練習会を見に行ってきました。男子の槍踊りはとても勇ましく、女子の扇踊りは華やかでした。子供たちは、指導者と真剣なやりとりをし、学校ではあまり見られない姿を見て、うれしさと頼もしさを感じました。指導者の方々の細かな、温かい指導により、踊りの技術はもちろん、挨拶や返事等、礼儀正しさやコミュニケーション能力も身に付いていることに感心しました。

５月３日、４日の当日は、男子は黒の紋付きに豆絞り、女子は紫の振り袖に花笠、それぞれの衣装に身をまとい、化粧もして、凛とした表情で、自信をもって舞う姿はとても素敵でした。両日で、100軒程の家の前で、男女それぞれ、300回以上の舞を繰り広げたそうです。地域の一員として大きな役割を果たした子供たちは、一層宮崎地区のことが好きになり、郷土に誇りと愛着をもったに違いありません。そんな子供たちに大きな拍手を送ります。また、地域の絆の強さも実感しました。

さわやかあいさつ運動

さて、子供の健やかな成長を考えたとき、家庭、学校、地域、それぞれの立場で何ができるのか、何を協働してできるのかを明確にすることが大切だと思います。学校は、学力や体力を付け、集団生活を通して社会性を育む場です。一方、家庭は、基本的な生活習慣や人としての躾を身に付けさせる場です。規則正しい生活習慣や善悪の判断等、規範意識の基盤をつくること、子供たちの心身の健康を育むこと、家庭学習の習慣を付けること等が、家庭の役割だと思います。「教育の原点は家庭教育にある」と言われるほど重要なものです。学校は学校でしかできないこと、家庭だからこそ効果的にできることというようにそれぞれ役割があります。もちろん互いにうまくいかないこと、不足することが出てきます。それを、お互いに補い合う場が学校と家庭との連携だと考えています。また、地域の方々にもご理解とご支援をいただかなければなりません。

「家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」と言われますが、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を果たしながら、連携し協働していく基盤が朝日町にはあります。これからも子供一人一人がもっているよさを生かし、伸ばしていくことができるように、三者が連携・協働していく朝日町であり続けてほしいと願っています。

子供とともに　～今年度朝日町の学校に赴任されたみなさん～

「新規採用教員として」　さみさと小学校　吉島　大貴

新規採用教員としてさみさと小学校に着任してもう２か月が経ちました。未だに分からないことが多くて戸惑うことが多いですが、元気いっぱいの子供たちと先輩方に支えられ、充実した毎日を過ごしています。

私は、４年２組の学級担任として子供たちと過ごしていますが、朝の「おはようございます。」や、休日明けの「こんなことしてきたよ。」、休み時間の「先生一緒に遊ぼう！」など子供たちの言葉を聞くと「今日も一日頑張ろう！」と元気をもらえることに驚いています。また、毎日の授業の中で「分からない」が「なるほど！」「そういうことか！」に変わっていく姿を見ると教師になってよかったと嬉しくなります。

学級の子供たちは一人一人、個性にあふれていて非常にやりがいを感じています。一人一人とのコミュニケーションを大切にし、それぞれの個性を伸ばせるような教師を目指して頑張ります。

「喜びを糧に」　朝日中学校　黒坂　翔子

新規採用教員として朝日中学校に赴任し、はや２か月が経ちました。素直で真面目な生徒たちと、何も分からない私に快く指導してくださる先生方に囲まれ、この朝日中学校で教員生活のスタートを切れたことを幸せに感じています。

学校での仕事は、まだまだ分からないことばかりです。授業のことでは毎朝毎晩頭を悩ませています。しかし、実際に授業をしてみると、不安な気持ちは心の隅に追いやられ、楽しいという気持ちが湧いてきます。そして何より、活動を通して生徒たちとの距離が縮まったと感じた時、とても嬉しくなります。また、初めての仕事に出会うたびに不安と緊張に襲われますが、それらを乗り越えると「できることが一つ増えた」と成長を実感することができます。

大変だと感じることの多い毎日ですが、「教員になってよかった」と心から思える日々を送っています。真面目さと謙虚さを大切にして、生徒と共に成長し続けていきたいです。

「生徒が期待する教師とは」　朝日中学校　宮島　誠

生徒にとって、学校は学びの場であり生活の場である。生徒は「分かるようになりたい。」「楽しい学校生活を送りたい。」と望んでいる。そのような中で、生徒はどのような教師を期待しているのだろうか。

教師は、生徒にとって尊敬できる、そして信頼できる人でなければならない。生徒は、「よいところをほめてもらいたい。」「困ったことや悩みを聞いてほしい。」などの願いを抱いている。教師として、そのような願いを素早く把握するとともに、生徒の目線に立ち、優しく思いやりをもって接することが（続）

大切である。また、生徒にとって楽しく分かりやすい授業を行うためには、たゆまぬ努力が必要である。さらに、実態に合わせ、「できるようになりたい。」という気持ちを大切にした授業を構想すべきである。そして、自分の授業の力量を向上させるために、改善しようとする意思をもって研究授業を行い、それを他者の目で分析してもらい、指導を受けることが大切である。

生徒が期待する教師像として、生徒理解ができる「人間性をもつ教師」、さらに生徒に力を付けることができる「専門性をもつ教師」であると考える。私たち教師にとって、この両面をバランスよく身に付けていくことが大切だと思う。

「初心、忘るべからず」　　朝日中学校　井田　誠

前任の桜井中学校で内示を受けた時のこと。「朝日中学校に異動です。」「えっ！」

初任からの「朝日を浴びながら通勤したい。」との思いが、通算６校目にしてようやく叶った瞬間であったにもかかわらず、「えっ！」という落胆とも言えるような感情が湧き上がってきたことを覚えています。朝日中は、妻のかつての勤務校であり、今からは想像できない「苦しかった」学校内外の様子を聞いていたからかも知れません。その「えっ！」が消えたのは、すぐでした。

年度初めの職員会議では「異国感」満載の時空間に戸惑いと新鮮さを感じながらも、協力的で熱心な保護者や地域の方々には、強力なサポーターとしての安心感を抱きました。

しかし、何よりも「えっ！」を消してくれたのは、「無遅刻」「さわやかで元気なあいさつ」「隅々までしっかりと行う清掃」「体育館に響き渡る校歌」を毎日やってのける２６４人の生徒たちでした。そして、気が付けば「この子たちの力になりたい。」と思いを巡らせている自分がいました。これは、教員１年目に抱いた思いそのものでした。初心を思い出させてくれた瞬間でした。

生徒は未来に向かって日々努力し、伸びようとしています。そんな一人一人の頑張りを見付け、伸ばすことができるよう、一生懸命に頑張りたいと思っています。

”日頃の学校生活から”

「夢」　　あさひ野小学校　舟本　麻衣

ある日のランチルームでのことです。ある子が「恥ずかしいけれど、言うね、わたしの夢は、スタイリスト」、それを聞いた子が「私は、保育士」、「私は、ピアノの先生」と次々と話してくれました。そして、「先生の夢は？」と聞いてくれました。しかし、私はすぐには、答えられませんでした。う～と悩んでいる私を見かねた子が、「先生は、どうして先生になったの？」と質問を切り替えてくれました。質問の技が、さすがです。それから、教師を目指すきっかけになった出来事を話すと、子供たちは、真剣に話を聞いてくれました。興味津々の様子でした。少しの時間でしたが、子供たちと夢について語り合えたことが、とても嬉しかったです。それと同時に、今の自分には、これといった夢がないことにはっとしました。子供に夢をもってもらうには、私自身が夢を語れないといけないなと気付かされました。

自分の夢を素直に語れるよう、教師としての幅を、そして、人としての幅を広げていけたらと思います。

学びつづける教師であるために～１学期の研修の概要・感想～

朝日町生活科・理科自然観察現地学習会　参加者１１名

日時　５月１７日（水）　　場所　鹿嶋神社・城山周辺
講師　勝田　栄造　先生
内容　「野外観察の仕方」「鹿島樹叢の珍しい植物」「採取した草花での遊び方」

宮崎地区の鹿島樹叢に生息する貴重な植物を観察しました。当日はオオイタドリ、イイギリ、クビキカンアオイ、マメヅタ等の特徴についての解説やシダを使った飛行機等の草花遊びについて指導していただきました。童心に戻って自然観察の楽しさを肌で感じることができました。

（感想から）

- 植物の名前が分からなくても、違いを感じたり、あれっと思ったりすることが大切であるということが分かりました。やはり、「不思議だな。」と子供が感じることが、好奇心(興味・関心)をもたせると思いました。
- 身近な植物の生態や、その植物を使った遊び方を知ることができました。生活科で自然観察や草花を使った遊び等を行う際に、参考にしたいと思いました。
- 野外学習の楽しさが改めて分かりました。また、その時に気を付けること（猪・熊などの野獣に対する対応、時間、説明の仕方、活動範囲）を教えていただき勉強になりました。
- 自然の中で活動することで、子供のよさを多面的に捉える視点がもてると思いました。
- 植物の本物を現地で見ながら学習できたことが何よりも勉強になりました。名前の由来や、見分け方など参考になりました。

小中生徒指導研修会　参加者１１名

日時　６月１日（水）　　場所　朝日中学校　１年各教室・会議室
内容　中学１年生の参観授業、情報交換会

中学校1年生の３クラスの授業を参観した後、「中１ギャップを解消するためには」という視点で、新１年生の現状と小中の連携について情報交換、意見交換を行いました。

（成果）

- 今回のように授業を公開していただくことで、子供たちの着実な成長を確認することができました。小学校の先生方からは、授業等の姿から率直な感想・意見をいただくことができ、その後の個別の情報交換が充実したものとなりました。小中学校の情報交換では、多数の１学年の生徒について話題に取り上げ、効果的な個別支援の方法の交流を図ることができました。

（課題）

- ＳＮＳに関わる問題が、話題に挙がりました。「中１ギャップ」の大きな要因となるため、校長会や生徒指導主任研でも話題にし、今後の方針を考えていく必要があると感じました。

（1学期）

6月 1日(木)	小中生徒指導研修会
6月 9日(金)	研究主任会
6月14日(水)	小中高生徒指導連絡協議会
6月21日(水)	児童生徒作品展実行委員会
6月22日(木)	小中教育講演会
	講師 上條晴夫先生
6月27日(火)	特別支援教育研修会
6月28日(水)	外国語活動研修会
7月 1日(土)	魚津地区理科自由研究
～9日(日)	発明くふう参考展
7月 5日(水)	郷土教育教材開発研究調査員会
7月 6日(木)	学力向上推進委員会
7月 7日(金)	道徳研修会
7月12日(水)	情報教育研究調査員会
7月31日(月)	外国語活動に関する講演会
	講師 金森 強先生
8月 1日(火)	学力向上プログラム研修会
	講師 岡田幸一先生
8月 3日(木)	情報教育研修会(午前・午後)
8月 4日(金)	授業力アップ研修会
	(理科実験講座)
8月 9日(水)	道徳に関する講演会
	講師 杉田 洋先生
8月17日(木)	郷土を学ぶ研修会(現地学習会)
8月18日(金)	小中高教育講演会
	講師 石津憲一郎先生
8月22日(火)	学校教育運営研修会
	講師 米屋慎一先生
8月24日(木)	授業力アップ研修会(仲間に学ぶ)
	講師 飯田澄代先生 (朝日中)
8月25日(金)	生徒指導に関する講演会
	講師 曽山和彦先生

（２学期）

9月23日(土)	学童生徒作品展
～24日(日)	
9月29日(金)	学力向上推進委員会

□ 朝日町教育センター運営委員

校長会	代表	松原 隆志
小教研	代表	金山 住恵
小中学校	代表	佐竹 隆太
教頭会	代表	内山 真之
教務主任会	代表	能登 千春

□ 情報教育研究調査員

さみさと小学校	内山	真之（委員長）
あさひ野小学校	中島	亮
さみさと小学校	鍋嶋	祥平
さみさと小学校	松井	和貴子
朝日中学校	廣川	平
朝日中学校	相田	健悟
朝日中学校	阿部	伸彦

□ 郷土教育教材開発研究調査員

あさひ野小学校	長谷川	亙(委員長)
あさひ野小学校	山下	雄己
さみさと小学校	太田	浩二
さみさと小学校	髙島	清賢
朝日中学校	岩﨑	將展

□ 外国語活動推進委員

あさひ野小学校	長谷川	亙(委員長)
あさひ野小学校	兵庫	秀典
さみさと小学校	谷口	優稀
朝日中学校	米田	歩
朝日中学校	橘	紀子

□ 学力向上推進委員

朝日中学校	竹内	康彦(委員長)
あさひ野小学校	水島	真寿美
あさひ野小学校	舟本	麻衣
さみさと小学校	鍋島	朋子
さみさと小学校	浦田	佳子
朝日中学校	田又	繁幸
朝日中学校	阿部	伸彦

今夏の必読・必見～「忙中閑あり」

慌ただしい年度初めも終わり、少し学級も授業も軌道に乗ってきた季節ではないでしょうか。それでも、目の前のことに忙殺される毎日だとは思いますが、忙しい時だからこそ時間を見付けて、読書や映画で、心の栄養を蓄えませんか。

小・中学校ＤＶＤ　ＮＨＫ人気シリーズ　その時　歴史が動いた

制作　「ＮＨＫソフトウェア」

2002年ＮＨＫ人気シリーズ番組をビデオ化したもの。子供たちが大好きな武将たちの知られざる世界をリアルに再現し、映像化してあります。大化の改新の秘密、本能寺の変の裏側、家康の三方原の大ばくち、不沈艦「大和」の最後など教師が見ても勉強になることが盛りだくさん。授業でのワンシーンにも使えます。

小・中学校ＤＶＤ　道徳ドキュメント　人生はチャレンジだ

制作　ＮＨＫエデュケーショナル

教育改革による「特別な教科道徳」のスタートに向けて、新しい道徳の指導法の実践例が数多く出されています。そんな中、道徳ＤＶＤを活用してみてはどうでしょうか。資料を可視化することによって、子供たちの興味・関心・意欲を高め、道徳的価値により近づいていく。そんな新しい授業展開も試してみませんか？

小・中学校　総合教育技術11月号増刊　実践学校カウンセリング2016

編著者　東京学芸大学教授　小林　正幸

新学習指導要領の全面実施を目前にひかえ、これからの学校教育を陰山英男氏と菊池省三氏が語る。今後の教師の力量形成は、ゴールイメージを明確に持つことが大切であることにたどりついています。また、文科省の合田哲雄氏が新学習指導要領を３つのポイントにまとめて分かりやすく説明しています。

小・中学校　理想の授業づくり

著者　上條　晴夫　発行　ナカニシヤ出版

６月２２日の小中教育講演会に講師として来られる上條晴夫氏の著書。大学において実践しておられる「教師力向上」に向けた新しい育成法。それが、この理想の授業づくりに書かれてあります。授業者の「好きなこと（こだわり）」から生み出した授業づくりを行ってこそ、本当の教師力を高めると、説いています。

編集後記

先日、天皇、皇后両陛下を迎え、魚津市を中心に全国植樹祭が盛大に開催された。天皇陛下の生前退位を認める特殊法案の採決など、日本の皇室体制も大きな変革の時を迎えている中の貴重な訪問となった。

教育の世界も今、変革の時期を迎えようとしている。国際社会を生き抜く能力の育成を図るため、平成３２年の新学習指導要領全面実施に向けて、各地で慌ただしく先行実施の準備を始めている。私たちが、今できることは、まず直面する課題に真正面から向き合い、新しい情報に耳を傾けることではないだろうか。

発行：朝日町教育センター

〒939－0743
富山県下新川郡朝日町道下1053－1

TEL　(0765)83－0279
FAX　(0765)83－0279
E-mail　asahi-ec@tym.ed.jp
Webサイト　http:www.asahi-c.tym.ed.jp/